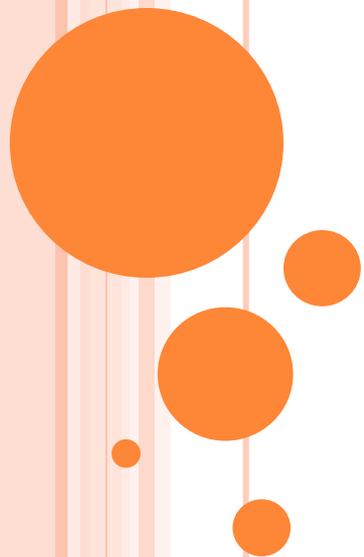


今後の取組と可能性 について

青島日本人学校



今後の取組と可能性

- (1) 多文化共生の学校づくり
- (2) 学校交流による新たな可能性
- (3) 家庭と学校をつなぐ日本語支援



(1) 多文化共生の学校づくりについて

従来の多文化共生の考え方

☞日本で暮らす上で困っている外国人に対しての支援。

いま求められていること

☞従来の考え方に加えて、外国人がもたらす多様性をむしろ集団の中に生かしていくこと。

☆バイカルチュラルの児童生徒が授業内で文化的に受容され、活躍できる場面をどれだけつくりだせるかが鍵！



「多文化社会の中で生きる力」として
児童生徒に育成したい3つのポイント

①寛容性

②批判的思考力

③創造力



「多文化社会の中で生きる力」

その1 寛容性

- 差異を正しく理解し、他者への想像力を高めていくような実践
- ちがいをちがいと認め、そのちがいを尊重する態度を育成



「多文化社会の中で生きる力」

その2 批判的思考力

- 適切な判断・評価規準をつくる力
- 論理的に判断を下せる力
- 不合理な規則や既成の枠組みを疑ってかかることができる力



「多文化社会の中で生きる力」

その3 創造力

- 他者とかかわり学び合う中で、ゼロから何かを作り出すというよりも既存のものを組み合わせたり、変更・修正したりして、新しい価値を生み出す力



(2) 学校交流による新たな可能性

オンラインによる

① 日本人学校間の交流

⇒ 日本人学校において日本語指導が必要な児童による交流学習 など

② 日本の学校との交流

⇒ 今年度の取組を継続する



(3) 家庭と学校をつなぐ日本語支援

ロイロノートによる支援

⇒ 日本語教室で学ぶ児童にも行いたい。

